

# 『すまいる通信』配信のお知らせ

毎月20日に  
配信します



『すまいる通信』は、あらかじめご登録いただいた方にパソコンや携帯電話等のメールを利用して、支援に役立つ情報やイベントをお知らせするサービスです。ぜひご活用ください。  
(情報利用料は無料。ただし通信料は自己負担となります)

新規登録、登録内容の変更・登録の解除

下記のアドレスまたは右の二次元コードより  
案内に従い、空メールを送信してください。

▶ <https://mail.cous.jp/setagaya-mail/>



〈配信元・問合せ先〉

世田谷区障害福祉部障害保健福祉課 TEL 03-5432-2227 FAX 03-5432-3021

## 世田谷区発達障害相談・療育センター「げんき」

### 開所日時

月～土曜日(祝日及び年末年始を除く)  
午前9時～午後6時

### 利用方法

世田谷区在住の方を対象としています。  
何かお困りのことがあれば、まず、世田谷区発達障害相談・療育センター「げんき」にお電話ください。

**TEL 03-5727-2236(相談専用)**

〒157-0074 世田谷区大蔵 2-10-18

大蔵二丁目複合型子ども支援センター 2・3 階

**TEL** 03-5727-2235 (代表)

**FAX** 03-5727-2238

**URL** <https://www.ryo-iku.jp/>

業務受託／社会福祉法人 トポスの会

〒123-0844 足立区興野 2-18-12

**TEL** 03-5837-4840 **FAX** 03-3890-8121

### 編集後記

今回、岩波明先生には、思春期・成人期における発達障害について、医学的見地からご講演を頂きました。国内外の症例を基に、症状や生活状況、また、その治療・対応方法などについてお話くださいました。医学に立脚した具体的なお話は、さまざまな課題と向き合っておられる方々やそのご家族にとって関心が高く参考になる内容だったと考えます。

講演会の概要をこの「Gpress」に記載しました。また、当日の講演の模様を、世田谷区オフィシャルチャンネル(YouTube)に動画として掲載いたします。ぜひ、ご視聴頂けましたら幸いです。

なお、岩波明先生には、ご多忙のところ、貴重なお話を頂きました。重ねて感謝申し上げます。

### アクセス



「成育医療研究センター前」「大蔵二丁目」バス停下車すぐ

#### 東急バス

- 〔渋24〕 成城学園前駅 ↔ 渋谷駅
- 〔等12〕 成城学園前駅 ↔ 等々力操車所
- 〔用06〕 成城学園前駅 ↔ 用賀駅
- 〔玉31〕 成城学園前駅 ↔ 二子玉川駅

#### 小田急バス

- 〔渋26〕 調布駅南口 ↔ 渋谷駅

渋谷方面行きのバスにご乗車の場合は「成育医療研究センター前」で下車。成育医療研究センター行き、成城学園前駅行き、調布駅南口行き方面のバスにご乗車の場合は「大蔵二丁目」で下車。

※専用駐車場はありません。

# Gpress せたがや

第56号

「ジープレスせたがや」

2025年  
11月発行

発行／世田谷区発達障害相談・療育センター「げんき」



発達障害理解のための講演会

## 発達障害について考えよう

～大人の事例から見えてくるもの～



令和7年8月20日 成城ホールにて  
昭和医科大学特任教授 精神科医 岩波 明 先生  
による講演会を開催しました

▼ 中面にて講演内容の一部をご紹介します。



本講演会の動画を  
世田谷区オフィシャルチャンネル (YouTube) にて配信しています

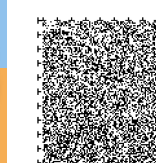
まずはお電話ください

<https://www.ryo-iku.jp/>

「げんき」相談専用番号

# 03-5727-2236

「げんき」では、発達障害に関する全般的なご相談をお受けしています。







## 発達障害理解のための講演会

# 発達障害について考えよう ～大人の事例から見えてくるもの～



講師：岩波 明氏（昭和医科大学特任教授・精神科医・医学博士）  
東京大学医学部医学科卒業後、東京大学医学部附属病院精神科、東京都立松沢病院、埼玉医科大学精神科を経て、ヴェルツブルク大学に留学。2012年より昭和大学医学部精神医学講座主任教授（※現 昭和医科大学）、2015年に同大学附属烏山病院・病院長に就任。2024年から現職。2020年、日本成人期発達障害臨床医学会を立ち上げ、理事兼事務局を担当。主な研究分野は、精神疾患の認知障害、発達障害の臨床研究など。  
著書：『発達障害』（文春新書）、『これ一冊で大人の発達障害がわかる本』（診断と治療社）など多数。

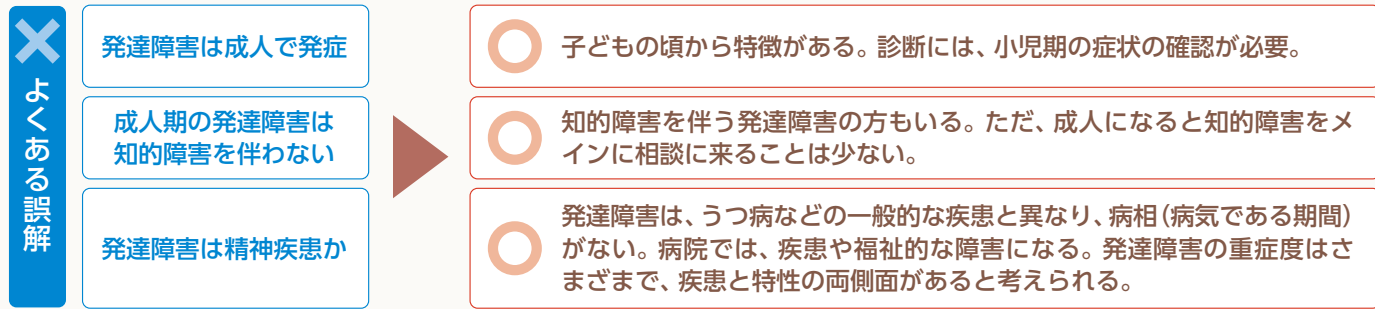


## ●『発達障害』は病名・診断名ではなく、総称

発達障害は、生来の何らかの脳機能の偏りによって特徴的な精神症状、行動上の問題が出るような一群です。発達障害は多様で、さまざまな症状が併存していることもあります。「発達障害は子どもの疾患で思春期以降はよくなる」と言われた時期もありましたが、誤りです。成人以降も症状が持続するケースが多く、精神科臨床においても社会的にも、大きな注目を集めています。

## ● 発達障害に関する誤解

発達障害は、時代や研究が進むにつれて、定義や考え方が変わるため、誤解が生じやすいです。



## ● ASDとADHD

ASDの症状【対人関係、社会性の障害・こだわり（・言語発達の遅れ）】とADHDの症状【多動・衝動性・不注意】は異なるように見えますが、臨床的には症状の重なりは大きく、問題行動のパターンが類似していることがあります。他の精神疾患との併存も多いことから診断が難しいです。

### 「空気が読めないからASD？」▶ADHDにも同様の行動は見られる！

- 例
- ASDは、空気を読むことが難しい。一方でその場の様子を察知して発言するように促すと対応できることもある。
  - ADHDは、空気を読めないのではなく、読もうとしない。思ったことを衝動的に話したり、一方的に主張したりするため、対人関係が長続きしにくい。失敗経験から対人関係を避けてしまう場合もある。

### ASDの特徴

- 「対人関係の障害」の程度はさまざまである。：生涯、親しい友人がまったくない例から、「物静かでおとなしい」存在として周囲から受けいられている例まで。
- 「空気が読めない」「場の雰囲気理解できない」ため孤立する場合や、一方的な言動を繰り返すこともある。
- ADHDに類似した不注意症状、衝動行為がある。
- 興味の偏りにより、マニアックな行動パターンを示す。：特定のものの収集、詳細な記憶機能。
- 行動パターンに自分なりのルールがある。：道順、着替えや食事の順序など、自分のルールを変えられない。

### ASDとこだわり

特定のものへのこだわりが強い。自分の行動にマイルールを持つ場合もある。考え方にこだわりがあり、他者の意見を受けいれにくいこともある。子どもの頃のこだわりは、大人になると別のこだわりに変化していることが多い。

### 発達障害とは？

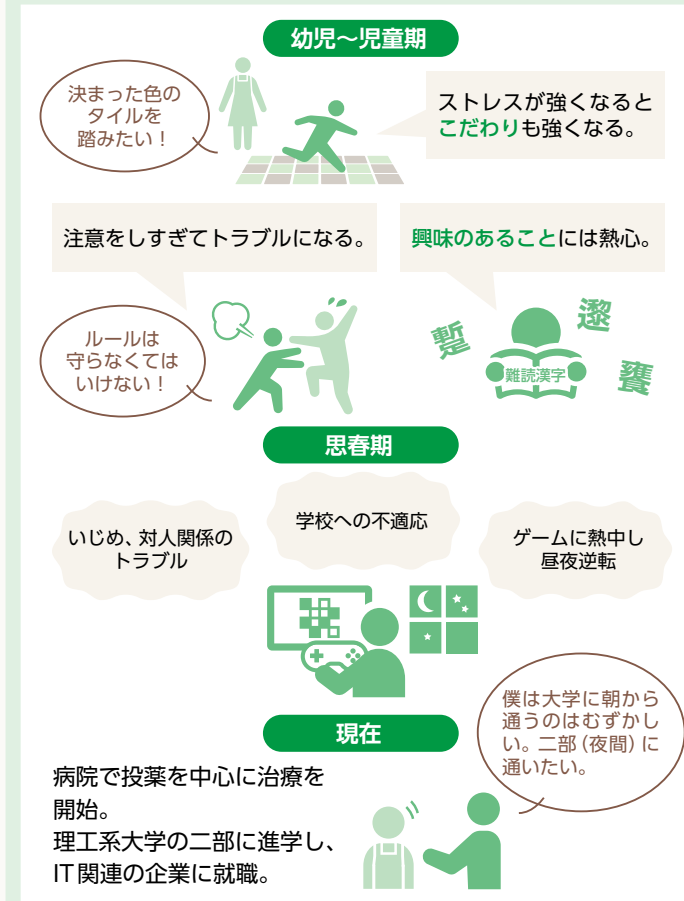
発達障害＝ASD（従来の広汎性発達障害）ではない。

知的能力障害群  
コミュニケーション障害群  
自閉症スペクトラム障害 (ASD)  
注意欠如・多動性障害 (ADHD)  
限局性学習障害 (LD)  
運動障害群 その他 ※DSM-5の診断基準より

## ● 大人の事例紹介

### 正義感の強いASD男性

思春期に不登校、転校を繰り返す。家族への暴言などがあり、受診。



### このケースの支援のポイント

- 本人の人間的な成長
- 投薬
- ネガティブなことを言わず、本人が自分で決めるまで待つことのできる母親がいた。

### ASDや他の精神疾患に誤解されやすいADHD女性

思春期にうつ状態になり、ASDの診断。大学で対人関係がうまくいかず、感情面の不安定さが生じて、受診。



### このケースの支援のポイント

- 小児期からの症状の聞き取り  
→ ASDよりADHD症状が多かった。
- 感情面での不安定さなど、二次障害に注目されやすいが、ベースにあるADHDの治療が大切である。

## ● ASDとADHDの治療のポイント

自分自身の行動特性を①理解すること②肯定的に受け入れること③是正に立ち向かう気持ちを持たせることです。生活上あるいは仕事上で、何が問題なのかを理解し、不得意な状況への対処行動を考えることが大切です。不得意な状況を起こさないように避けてもよいと思います。また、薬物療法の前提として、疾患に対する本人の理解が重要です。同じ症状を持つ当事者によるグループワークや交流が有益だったという方も多いです。

## ● 発達障害と創造性

ADHDのマインドワンダリング（現在行っている課題や出来事から注意がそれて自発的な思考が行われる現象）は、思考の流暢性や柔軟性、独自性などの「創造性」と関連していると言われています。発達障害の特性をもつ偉人・芸術家・実業家は多くいます。発達障害の特性を、単に症状として見るのではなく、別の面から見ると、ポジティブに捉えることができます。

